

# 北広島商工会だより

令和元年9月1日号  
第112号

会員の状況  
(部会の重複加入あり)

会員	771名 (+ 7、- 1)
商業	455名 (+ 3、- 1)
工業	372名 (+ 4、- 0)
青年	62名 (+ 1、- 0)
女性	55名 (+ 0、- 0)

※+加入人数、-脱退人数

発行 北広島商工会事務局  
責任者 事務局長 浜田 薫  
〒061-1121

北広島市中央5-7-2  
TEL 011-373-3333  
FAX 011-373-3212

shokokai@kitahironavi.or.jp  
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

## 商業部会 (部会長 鈴木陽一)

### ■限定ユニフォームで応援

7月20日、札幌ドームでの野球観戦に37名が参加しました。対戦相手は千葉ロッテマリーンズで、この日は観戦者全員に限定ユニフォームがプレゼントされる試合だったことから満員となりました。試合は、4回に渡邊、宇佐美、清宮などのヒットで4点が入ると応援にも力が入り、球場全体が盛り上がりました。先発浦野投手の好投もあり、相手打線を無得点に抑えたファイターズは見事勝利。試合終了後の勝利の火花を見てから懇親会場の菜味亭へ移動。



限定ユニフォームで応援した観戦者たち。試合終了後の勝利の火花を見てから懇親会場の菜味亭へ移動。

おいしい焼肉をみんなで食べ、ファイターズが勝利したこともあって、参加者同士大いに盛り上がり交流を深めました。子どもを対象としたまいピーグッツが当たるくじ引きも行い、大人も子どもも楽しみました。

## 青年部 (部長 西尾 広美)

### ■交通安全街頭啓発運動を実施

本事業は、交通事故防止を訴え、地域住民に一層の交通安全意識の浸透を図る

ことを目的として、北海道商工会青年部連合会が各商工会青年部へ呼びかけ、各地で毎年実施されています。



に事故防止を呼びかけました。

### ■スポーツイベントも好評!!

食と音楽、スポーツを楽しむイベントとして7月26日、27日の2日間開催したキタヒロケットは、昨年まで使用していた北広島駅西口公園、エルフィンパークから、旧ダウ化工跡地(石屋製菓工場横)に変更して実施。駐車場を広く確保できたことにより、車での来場者が1,000台



ほどあり家族連れなど車移動の方々にも好評でした。出店も昨年より22店多い42店になり、初日はあいにくの天候でしたが、2日目は天気も持ち直し、多くの来場者で賑わいました。

新企画として、アクロバティック鬼ごっこやトランポリンなどで遊べるスポーツ出店もあり、子どもにも人気でした。

ステージでは、佐藤広大やNEVAGIVE UPなどのアーティストによる音楽ライブやビンゴ大会、ソフトクリーム早食い大会などを行い盛況でした。

イベント開催にあたり、協力団体、会員の皆様に多大なるご協力いただき実施することができました。

### ■第41回北広島ふるさと祭り

北広島市観光協会主催の第41回北広島ふるさと祭りが、8月3日、4日に開催され、当青年部は、子供盆踊り・コスプレ仮装盆踊りの運営と出店をしました。

出店では、酒粕を使ったジンギスカン、フランクフルト、ビールなどを販売。両日とも天候に恵まれたことから、ビールや飲料は追加仕入するほど売れました。

子供盆踊りでは、約600人の子供たちが北広島ふるさと太鼓保存会の盆太鼓にあわせて元気に踊りました。

コスプレ仮装盆踊りには市内外から10組22名が参加。チョコちゃんやプリキュア、ルパン



三世など、趣向を凝らした衣装で踊っていました。

コスプレ仮装盆踊りの優勝は、フラダンスの衣装で参加した市内の4人組「KCガール」で、夏らしさと仮装、踊りの完成度が評価され、優勝賞金6万円と副賞の焼肉セットを手に入れました。

## 女性部 (部長 根岸 敏子)

### ■消費者の手に届く過程を知る

7月24日に市内先進企業・観光資源等視察研修を実施。11名が参加し、北海道はまなす食品とダスキン道央南工場を視察しました。

北海道はまなす食品では佐藤靖史社長から、事業概要について次のような説明を受けました。自治体6団体と民間11社の出資により設立された同社は、従業員の約半数が障がい者の方が占めている。会社内には、能力開発センターも併設されており、障がい者のOJTを主体とした実践的な職業訓練も行っている。主に納豆を製造し、はまなす食品ブランドのほか、コープさつぽろブランドを製造。そのほかに珍味やドライフルーツなど食品関連企業や生産者との連携により仕入れたものを袋詰めしている。

障がい者の方と一緒に働くための取り組みとして、マニュアルはもちろん、表示物を使って判断基準をビジュアル化している。積み上げの高さをラインで示したり、タレやカラシの配置、包装作業での製品袋にシールを貼る場所の基準となる治具を使っての作業など、ビジュアル化することで障がい者の方だけでなく誰にでもわかりやすい判断基準が設けられて、結果的に生産者の作業効率も上がったとのことでした。



工場見学では、実際に納豆の製造工程を見せてもらい、完成までに3日かかる行程をどのように作業しているのを見学。納豆の製造では、機械化することでほとんど人手をかけないことは可能であるが、障がい者雇用の観点から、人的作業行程を適度に残しているとのことでした。

ダスキン道央南工場では、使用済みのマット・モップなどの洗浄、包装行程を見学。マットを洗う洗濯機は、1台で200キロが洗濯でき4台が稼働していました。洗濯、乾燥後のマットは、目視で破れなどが無いかを確認して、吸着剤加工を実施。モップ製品は

## 新会員紹介

- 〈商業部会〉
  - (株)サーチファイン 白井 早千乃 様
  - 大曲末広2-1-11
  - (株)ポールパークシテイ 小松 真実 様
  - 北進町1-2-4
  - からあげROUTE46 渡辺 仁志 様
  - 共栄町1-1-18 すぎビル1F
- 〈工業部会〉
  - (株)赤坂組 赤坂 敦 様
  - 札幌市清田区里塚3条3-15-11
  - コウノトリ運送 千葉 浩一 様
  - 大曲南ヶ丘2-2-204
  - ザ・オリエンタルバス(株) 森田 伸 様
  - 輪厚 431-3
  - プロシード・デザイン(株) 坂本 学 様
  - 大曲並木2-6-33

洗濯機で洗濯・吸着剤加工・乾燥、最終的に目視でごみの付着を確認、X線検査、金属探知機を通した後、人手で袋詰めしていただきました。洗浄した製品は札幌市内の各営業所に納められているそうです。

洗濯に使われる水は1日約200tで、汚水はそのまま捨てず、薬品で汚れを分離、ろ過してから排水しているとのこと。分離したよごれもスラッジという塊にして、セメントの原料の一部や燃料の一部として活用し環境に配慮しているとのことでした。

北海道はまなす食品では、障がい者の方と共に仕事をする中で、結果的に健常者も働きやすい環境になることを知ることができました。また、ダスキン道央南工場では、洗浄して繰り返し使用し、汚水の処理を行うことで環境に配慮している行程を見学することができ、これまで何気なく購入したり利用していた生活に密着した製品をより身近に感じた研修となりました。

### ●エネルギー講演会開催のご案内

#### 北広島商工会

**創立50周年記念冠事業**  
北広島商工会創立50周年記念冠事業として、当会と北海道エナジートーク21が共催し、講演会を開催します。講師は北海道大学名誉教授 杉山憲一郎氏で、「これからの日本のエネルギーを考える「ブラックアウト」で見えるエネルギー安全保障」という演題で講演いただきます。

- 開催日時 10月2日(水) 14時～15時30分
- 会場 北広島市芸術文化ホール 活動室1・2
- 申込締切 9月27日(金)

### ●補助金公募のお知らせ

平成30年度補正予算「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」

この2次公募が開始されました。

この補助金は、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者等が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援するものです。

当商工会では、補助申請する事業所に専門家を無料で派遣し支援する制度がありますので、ご相談ください。

#### 補助対象事業者

中小企業・小規模事業者等

○補助対象事業 設備投資等(革新的サービス開発、試作品開発、生産プロセスの改善を行うための設備投資等)

○補助率および補助額

「一般型」補助額 100万円

1,000万円

補助率1/2以内

「小規模型」補助額 500万円

補助率1/2以内

#### 事業期間

交付決定日

2020年1月31日(金)

#### 公募期間

2019年9月20日(金)まで

詳しくは、経済産業省北海道経済産業局ホームページをご確認ください。

### ●北広島市プレミアム付商品券

#### 取扱事業所募集のご案内

北広島市では10月の消費税率引き上げの影響を緩和するために、低所得者・子育て世代を対象にプレミアム付商品券(使用期間10月～2月末)を発行します。これに伴い現在商品券取扱事業所を募集しています。申込先は北広島商工会となっております。申込書は市役所ホーム

ページからダウンロードできます。対象市民に配布される「取扱店一覧」への



掲載は8月30日までに申し込みました事業所に限られてしまいましたが、8月31日以降の申し込みでも同一覧は市役所ホームページに掲載され、そちらは随時更新されます。申込締切りは12月27日までとなっております。詳しくは商工会までお問い合わせください。

### ●大企業・親事業者の働き方改革に伴う下請け等中小事業者への「しわ寄せ」防止のための総合対策について

中小企業庁は、厚生労働省と公正取引委員会とともに、「大企業・親事業者の働き方改革に伴う下請け等中小事業者への『しわ寄せ』防止のための総合対策」(しわ寄せ防止総合対策)を策定しました。

令和2年4月からの中小企業への時間外労働の上限規制の適用に向け、緊密な連携を図りながら以下の取り組みが実施されます。

- ①関係法令等の周知徹底
  - ②労働局・労基署等の窓口等における「しわ寄せ」情報の提供
  - ③労働局・労基署等の窓口等における「しわ寄せ」防止に向けた要請等・通報
  - ④公取委・中企庁による指導及び不当な行為事例の周知・広報
- 詳しくは、中小企業庁ホームページをご確認ください。

### ●キャッシュレス化対応セミナー

#### 消費増税まであと1ヶ月

本年10月1日からの消費税率10%への変更に伴い、消費者に最大5%が還元される「ポイント還元制度」が来年6月30日までの期間限定で実施されます。

当会では、7月23日に商工会館で「キャッシュレス決済の動向と導入方法等について」というテーマで講習会を開催し9名が参加。講師は北洋銀行フィナンシャルマーケティング部 FinTech 戦略グループの佐々木 勉氏で、

キャッシュレス決済の導入状況やサービス導入のポイントなどを学びました。キャッシュレス決済(現金以外の精算)には、現在主流となっているクレジットカード、Suicaなどの電子マ

ナー、スマートフォンを利用しQRコードを読み取るものがあり、手数料などのランニングコストや入金サイクルがそれぞれの決済事業者によって異なっています。

現在キャッシュレス決済端末の導入費用を補助する制度があり、事業者負担なしに導入することができます。

講師の佐々木氏は、①ポイント還元によって、今後キャッシュレス決済利用者が増加することが予想される。②自店の客層を考慮し決済事業者を選択する。③初めてキャッシュレス決済を導入する場合、導入コストが殆どかからないQR決済から行ってみようかと締めくくりました。

### ●消費増税への早急な対応を！

消費増税まで1ヶ月あまりとなり、コンビニチェーンやクレジット会社のポイント還元方法が発表されていますが、中小・小規模事業者の対応が遅れていると言われています。

当会でも、キャッシュレス化への対応方法の説明や端末機器導入状況を調査していますが、「どう対応して良いかわからない」「検討はしている」といった声が多く聞かれています。

ポイント還元制度は、消費増税による消費の落ち込みを最小限に抑えるとともに、電子マネーの普及を目的としており、中小・小規模事業者にとって、手数料やランニングコストの増加、ポイント還元事業者への顧客流出などが懸念される点です。

現在はキャッシュレス決済端末導入に係る補助とポイント還元期間中の決済手数料補助もありませんので、キャッシュレス化実施を考えている事業所におかれましては早急にご対応願います。なお現在キャッシュカードを取り扱っている事業所におきましては、ポイント還元事業者登録が改めて必要となつております。ご注意ください。

詳しくは、同封のチラシ「中小・小規模事業者の皆様へのキャッシュレス導入を支援します!」をご参照ください。

## ■北海道では高校生向けフィールドスタディ(インターンシップ)受け入れ企業を募集しています■

北海道では、道内高校生等のものづくり企業をはじめとする道内企業への就職促進のため、株式会社マイナビとタイアップ事業を実施することにしました。当該タイアップ事業の一環として、大学進学を控えた普通科の高校生を対象としたフィールドスタディ(インターンシップ)を促進するために株式会社マイナビが経済産業省委託事業(平成29年度補正「未来の教室」実証事業)により立ち上げたオンライン総合学習サイト「locus(ローカス)」への登録(インターンシップ受け入れ)企業の募集をこの度、開始しました。

「locus」は、全国に先駆け、北海道からスタート(2020年4月予定)することとしており、この度の募集は、運用開始に向けフィールドスタディを受け入れていただける道内企業を事前に募集し、登録(無料)するものです。

- フィールドスタディ受入企業募集HP [http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/monodukuri/tieup\\_locus.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/monodukuri/tieup_locus.htm)
- locus(ローカス)に関するお問い合わせ先:株式会社マイナビ教育地域創生部(担当:佐藤、岡沢) 電話:(03)6267-4411
- 株式会社マイナビとのタイアップ事業に関するお問い合わせ先 北海道経済部産業振興局産業振興課ものづくり産業グループ(担当:松浦) 電話:(011)204-5323
- 「locus」の登録に、料金はかかりません。